

夕日とロマンのフラワーアイランド

い え そ ん

伊 江 村



市町村コード	473154	類型	I-O
所在地	〒905-0592 伊江村字東江前38番地		
T E L	(0980)49-2001	F A X	(0980)49-2003
ホームページ	http://www.iejima.org/ieson/		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

(組織)

(平成31年3月31日現在)

村長	しまぶくろ ひでゆき 島袋 秀幸 任期 H33.4.27 (2期)	副村長	なしろ まさひで 名城 政英 任期 H33.5.1 (2期)
副村長	-	教育長	みやざと とくとなり 宮里 徳成 任期 H33.3.31 (2期)

(概要)

県下 23 位		
総面積 H30.10.1	耕地 H30.7.15	宅地 H30.1.1
22.78 km ²	1,090 ha	1,212,477 m ²

県下 28 位		
住基人口 H30.1.1	H27国調人口	H22国調人口
4,596 人	4,260 人	4,737 人
年少人口割合 14.3%	(県全体 14.3%)	高齢化率 29.9% (県全体 19.6%)

議長	とぐち まさお 渡久地 政雄	副議長	かめざと としろう 亀里 敏郎
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	10	10	H34.9.27
	常任委員会	党派構成	無所属
	経済・公営	1	9

住基世帯数 H30.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
2,218 世帯	1,917 世帯	1,915 世帯

有権者数 H31.3.1	男	女
3,819 人	1,938 人	1,881 人

H30.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	147 人	119 人	28 人
人口千人当たり職員数	31.98 人	25.89 人	6.09 人
各4.1現在	平成30年度	平成29年度	平成28年度
職員数(普通会計)	119 人	115 人	115 人
類似団体	-	101 (134)	101 (133)
ラス指数	92.3	91.8	92.3

沿革

明治41年4月1日	村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

※類似団体〇は修正値。ラス指数の〇は国家公務員の給与定率特例法による減額措置が無い場合。

(村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/行事等)

村花	テッポウエリ	村木	ガジュマル
村鳥	-	村魚	-
名所・旧跡	城山(タッチュー)、湧出、ニヤティヤ洞、シカの化石、具志原貝塚、リリーフィールド		
祭り、行事	一周マラソン大会、ゆり祭り、海神祭、大折目、旧盆エイサー、民俗芸能発表会、チューパンジャ祭り		
名産・特産	伊江島牛、島らつきょう、ピーナツ菓子、もずく、紅芋、トウガン、麦、イエソウダ、黒糖		
姉妹都市	-		
その他	滋賀県高島市児童との交換交流会(夏・冬)		

(基本構想)

基本構想	H23~H32	中長財政計画	無
基本計画	H23~H32	(-)	(-)
実施計画	H23~H32	(10年計画	5年ローリング)

(平成31年度主要事業)

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	伊江村総合運動公園整備事業	継続	396
補助	小学校教員宿舍整備事業	新規	194
補助	農業基盤整備促進事業	継続	151
補助	団体営農地保全整備事業	継続	122

(広域市町村圏・広域計画)

(基地面積) (H30.3末)

北部広域市町村圏	米国軍	
-	基地面積	801.5 ha
-	市町村面積に占める割合	35.2%
-	自衛隊	
-	基地面積	0.0 ha
-	市町村面積に占める割合	-
-	合計	801.5 ha 35.2%
-	県面積に占める割合	0.35%

(今後の主要プロジェクト)

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	伊江村総合運動公園整備事業	H26~H34	未定
補助	住宅建設事業(村営団地)	H30~H31	378
-	-	-	-
-	-	-	-

〈教育〉 (平成30年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	2園	29人
村立小学校	2校	236人
中学校	1校	129人
村立	1校	129人
村立以外	0校	0人

〈医療〉 (平成29年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	2箇所	0床
村立	2箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

〈産業〉 ①産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	770人	33.7%
第2次	326人	14.3%
第3次	1,188人	52.0%
合計	2,284人	100.0%

②村内総生産 (H27年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	1,790	14.2%
水産	186	1.5%
鉱・製造	634	5.0%
建設	3,490	27.7%
電気ガス水道廃棄物	163	1.3%
運輸・郵便・通信	629	5.0%
卸売・小売	1,111	8.8%
金融保険不動産	566	4.5%
宿泊・飲食サービス	593	4.7%
専門・科学技術支援	251	2.0%
公務・教育	1,767	14.0%
保健衛生社会	767	6.1%
その他サービス	641	5.1%
合計	12,588	100.0%

〈福祉〉

区分	施設数	収容定数
保育所(H30.4.1)	2箇所	150人
村立	2箇所	150人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H29年度平均) 人口千人当たり		13.60人

〈財政〉

①決算収支 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度
歳入総額	8,294	5,725	6,250
歳出総額	8,025	5,547	6,094
形式収支	268	178	156
実質収支	253	174	143
比率	10.5%	7.0%	5.7%
積立金	21	186	91
積立金取崩額	167	89	100
実質単年度収支	△41	18	△39

②主要指標 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財力指数	0.17	0.17	0.17	29	0.37	0.53	0.31
標準財政規模 a	2,409	2,477	2,509	28	8,354	22,703	3,092
経常収支比率	75.4	78.1	80.6	8	87.2	88.0	85.1
人件費	31.6	29.7	31.9	31	23.1	22.3	25.4
扶助費	3.0	4.2	4.8	16	15.4	18.3	8.1
公債費	14.3	17.1	16.9	27	14.4	14.7	13.5
物件費	15.0	16.3	15.9	23	14.5	14.0	15.7
その他	11.5	10.8	11.1	5	19.8	18.7	22.4
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	3.8	4.3	4.6	5	8.0	8.6	6.4
将来負担比率	-	-	-	-	27.1	43.8	-
税徴収率	95.7	97.1	97.7	6	96.6	96.8	95.9
現年課税分	98.9	99.3	99.2	5	98.7	98.8	98.6
滞納繰越分	34.2	40.9	39.5	14	37.8	39.3	33.6
債務負担行額 b	0	0	0	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	4,318	4,076	3,994	-	-	-	-
c/a %	179.3	164.6	159.2	16	-	-	-
積立金現在高	3,787	4,010	4,054	-	-	-	-
財政調整基金	1,627	1,723	1,715	-	-	-	-
減債基金	706	823	825	-	-	-	-
その他特目基金	1,455	1,465	1,514	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	73,239	76,066	78,432	5	-	-	-
自主財源比率	19.5	27.9	24.2	28	-	-	-

③公営事業会計等における繰入金の状況 (H29年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	76	149	11
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	2	18	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
法非適	-	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適	上水道事業	△2	1
交通(船舶)事業	277	15	1
-	0	0	0

④歳入の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	360	5.8%
地方譲与税	43	0.7%
地方交付税	2,156	34.5%
普通交付税	1,927	30.8%
特別交付税	229	3.7%
国庫支出金	1,306	20.9%
県支出金	743	11.9%
地方債	336	5.4%
その他	1,306	20.9%
歳入総額	6,250	100.0%

④歳出の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	969	15.9%
物件費	1,209	19.8%
扶助費	379	6.2%
補助費等	469	7.7%
公債費	448	7.4%
普通建設事業費	1,844	30.3%
補助事業費	1,418	23.3%
単独事業費	424	7.0%
その他	776	12.7%
歳出総額	6,094	100.0%

〈行政の特色〉

本部半島から約9キロの距離に位置する一島一村の離島である。島の35%を米軍基地が占め、農漁業主体の産業構造と歴史・文化の成り立ちは、沖縄の縮図と言われる。村では、その自然条件を活かした農業・漁業に加え、近離島を売りものに「観る」観光から「体験」する観光に結びつけ、「滞在型」観光リゾートづくりを積極的に推進している。